

授業科目名	教育制度論	教員名	湯田 拓史	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	必修
					小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
					保育士	選択
					こども音楽療育士	
科目番号	SEN301	配当年次	3年前期	情報処理士		
授業形態	単独					
単位数	2単位					
科目						
施行規則に定める科目区分						
一般目標	教職に就くにあたって必要な教育制度の知識を得られるように教授することを目標とする。					
到達目標	<p>1. 憲法と教育基本法の理念を理解した上で、社会変動を把握しつつ教育行政と教育経営の仕組みと機能を理解する。最新の教育政策の動向を理解し、教育課題に対応できるようにする。</p> <p>2. 関連法令を学ぶことで、教員として必要な危機管理やコンプライアンス意識を高める。</p> <p>3. 教員が、保護者や地域と連携することの重要性を理解する。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	ディプロマポリシーの1と6には到達目標1と3が関連する。ディプロマポリシー2には到達目標2が該当する。					
授業の概要	<p>本講義では、我が国の教育制度の概説を行う。教育基本法改正後に関連法令が改正されたことで、教育制度は大きく転換した。教育制度の機構と機能を説明したうえで、現在の改革動向を確認し、教育制度・行政の仕組みを知り、教員としての基本的な姿勢と知識を学ぶ。</p> <p>本講義で実施するアクティブラーニングの種類(振り返り・個別の質疑応答、小テスト・レポート)</p>					
履修条件・注意事項						
授業計画	<p>第1回： ガイダンス／教育の制度と行政を学ぶ意義</p> <p>第2回： 教育の法・制度・経営 ―概念定義と作用の説明―</p> <p>第3回： 文部科学省と教育委員会 ―評価国家から能力開発国家へ―</p> <p>第4回： 教育政策の計画化 ―教育振興基本計画と学校経営計画―</p> <p>第5回： 教育の経済 ―公教育と私教育費の混合―</p> <p>第6回： 教員への道 ―養成・採用・研修の一体改革―</p> <p>第7回： 教科書制度 ―検定と採択の仕組み―</p> <p>第8回： 就学前教育 ―こども基本法―</p> <p>第9回： 義務教育 ―公教育の基本枠組みと児童・生徒の生活―</p> <p>第10回： 後期中等教育 ―入試方式と通学区制度と高校生の生活―</p> <p>第11回： 高等教育の変貌 ―国立大学法人化後の国立大学と公立大学と私立大学―</p> <p>第12回： 学校保健安全法 ―パンデミックの防止と学校安全計画―</p> <p>第13回： 学校と地域社会との連携 ―コミュニティ・スクールの展開と子どもの生活―</p> <p>第14回： 教育制度の国際比較 ―グローバル社会での変容―</p> <p>第15回： 学習社会の到来 ―「学び続ける教員」になるために―</p>					
授業外学修時間の確保について	授業中に指定された資料を読み込んでおく。 教育関連のニュースを視聴しておく、教育関連の新聞記事を読んでおく。 事前にテキストを読み込んでおく。					
学生に対する評価	積極的な授業参加と15回中5回実施する小レポートの提出(40%) 定期テスト(60%)					
テキスト	湯田拓史『奨学生への指導手引』鉾脈社、2022年、ISBN 978-4860618100					
参考書・参考資料等						
担当者からのメッセージ	私語厳禁。					

オフィスアワー	木曜日16:10-16:30 (授業終了後)
備考	